

要 旨

本稿は、クレジットデフォルトスワップ (CDS) プレミアムの決定要因について、本邦クレジット市場の時系列データを用いて実証的に分析したものである。数量データに関する **Truncation** (負の値が観察されない) 問題にも配慮しつつ、プロテクションの需給構造を考慮した同時方程式を推定した結果、例えば、ローンに代表される資金運用機会の減少に伴い、プロテクションの供給が増加し、プレミアムが低下することを確認した。また、ショートカバー動機の顕在化に伴い増加したプロテクションの需要が、プレミアムの上昇をもたらすことなども確認された。プロテクションの需給構造を無視した場合に、これらの要因の価格インパクトがバイアスを持って推定されるという点は、CDS プレミアムの実証的な分析に当たって、需給要因を適切に取り込むことの重要性を示唆している。

キーワード : 需要要因・供給要因 ; 同時方程式 ; クレジットリンクノート

JEL Classification: G12, C34, C36,